

福田富昭会長と日本レスリング協会の 18 年

(2013 年～2016 年)

2013 年

【2月12日】国際オリンピック委員会（IOC）の理事会で、**2020年夏季オリンピックの実施競技からレスリングを除外し**、9月の総会でレスリングを含めて8競技の中から1競技を選んで採用することを決定。

【2月13日】福田会長らが都内で会見し、**オリンピック競技として存続を目指す**ことを宣言。オリンピックのレスリングを守る闘いが始まった。

【3月18日】日本オリンピック委員会（JOC）の理事会で、上村春樹・選手強化本部長（全日本柔道連盟会長）が辞任した同職に、**福田・JOC副会長が代行**として6月末の残り任期まで就任することを承認。

【3月20日】日本協会の理事会で、**福田富昭会長と高田裕司専務理事の再任**が決定。ともに6期目。

【5月18日】ロシア・モスクワで行われた国際レスリング連盟（FILA）臨時総会で、評判の悪かった2分3ピリオドのピリオド制の試合方式を、**3分2ピリオドのトータルポイント制**に戻すことを決定。

【5月24日】レスリングのオリンピック競技存続を嘆願する署名が**94万268人**分集まり、FILAへ送付。

【5月27日】福田会長が世界のレスリング界の顔でもある吉田沙保里選手とともに**国際オリンピック委員会（IOC）理事会**が行われるロシア・サンクトペテルブルグへ向かう。

【5月29日】IOC理事会で、2020年オリンピックで実施される競技として、**レスリング、野球・ソフトボール、スカッシュ**の3競技が最終候補に残る。



▲IOC理事会の決定を受けて行われた緊急記者会見



▲全国から90万を超える署名が集まった

【6月28日】日本オリンピック委員会の定めた理事の定年規定により、**福田会長が理事・副会長を勇退**。

【8月9日】IOC理事会で、2016年リオデジャネイロ・オリンピックのレスリングで**女子の階級を4階級から6階級**に増やし、男子各スタイルを1階級ずつ減らして各6階級にすることを決めた。レスリング除外の一因とされた男女格差の是正のため。

【9月7日】アルゼンチン・ブエノスアイレスで国際オリンピック委員会（IOC）総会が行われ、**2020年夏季オリンピックの開催地として東京が決定**。

【9月8日】IOC理事会が行われ、2020年東京オリンピックで実施が未定だった最後の1競技に**レスリングが選ばれる**。

【12月2日】東京・味の素トレーニングセンターで、中国、韓国、モンゴルが参加しての**アジア女子合宿がスタート**。下村博文・文部科学大臣が訪れて激励。



▲2020年オリンピックでのレスリングの実施が決定

2014年

【3月15～16日】東京・小豆沢体育館で**女子ワールドカップ**を開催。日本は予選を勝ち抜き、決勝はロシアを7-0で下して2年ぶり7度目の優勝。

【6月16日】国際レスリング連盟が、名称をフランス語による「FILA」（Fédération Internationale des Luttes Associées）から、英語による「UWW」（United World Wrestling）へ変更を通達（正式決定は9月の総会時）。

【9月8日】ウズベキスタン・タシュケントで世界レスリング連盟（UWW）の総会が開催され、1996年夏から理事を、2002年から副会長を務めた**福田会長が勇退**。後任として立候補した富山英明・日本協会常務理事（当時）が理事選挙に出馬して補欠当選（任期は6年ではなく4年）。

【9月9日】UWW副会長・理事を退任した福田会長が、**UWW名誉副会長**へ。



▲UWW理事を富山英明氏にバトンタッチ

【11月】国際交流基金文化協力主催事業の一環でアフリカのスーダンでレスリングの指導を行う砂川航祐選手の渡航に合わせ、本協会が中古のレスリングシューズ約50足を送り、国際交流をはかる。

【12月11日】日本体育協会が、2016年岩手国体から女子の採用を決定。

2015年

【4月】東京オリンピックのレスリング会場が予定されていた有明ビッグサイトが、メディアの拠点となる国際放送センター（IBC）とメインプレスセンター（MPC）も設置されることから手狭との指摘を受け、会場変更案が浮上。

【6月8日】国際オリンピック委員会（IOC）の理事会で、宙に浮いていた東京オリンピックのレスリング会場が千葉・幕張メッセに決定。

【6月28日】日本協会の理事会・評議員会で、福田富昭会長と高田裕司専務理事の再選を決定。ともに7期目。

【9月7～12日】米国・ラスベガスで行われた世界選手権で、女子は3選手が金メダルを取ったものの男子両スタイルはメダルがなく、翌年のリオデジャネイロ・オリンピックの出場枠を1階級も取れない惨敗。福田会長は、懺悔のスキンヘッドとなり、八田イズムの伝統を実践。



▲男子の惨敗にスキンヘッドになった福田会長

【10月1日】文部科学省の外局としてスポーツ庁が発足。

【10月18日】ビーチ・レスリングの振興のため、ドン・キホーテ杯ビーチ・レスリング沖縄大会を沖縄・豊見城市で開催、以後、毎年実施。

【12月4～6日】世界レスリング連盟（UWW）のコーチ・クリニックが東京・味の素トレーニングセンターで行われる。3スタイル同時実施は初めて。

【12月21～23日】リオデジャネイロ・オリンピックの予選でもある全日本選手権に、3日間で大会史上最多の「115媒体、のべ708人」の報道陣が申請。最終日はアイドルグループC-ute（キュート）がサプライズ登場。



▲アイドルグループ C-ute が歌った全日本選手権

【12月25日】日本スポーツ振興センター（JSC）が、福田会長が2012年から務めてきた東京・味の素トレーニングセンター（NTC）のセンター長の年内退任を発表。後任は山下泰裕氏（全日本柔道連盟副会長）

2016年

【1月1日】12月31日深夜に男女3スタイルの全日本チームが東京・味の素トレーニングセンターに集合。年が変わる午前0時に、「3、2、1、ハッピー・オリンピック・イヤー！」のコールで新年を迎え、オリンピック・イヤーの健闘を誓った。



▲オリンピック・イヤー恒例の正月合宿

【7月1日】日本オリンピック委員会（JOC）が、8月のリオデジャネイロ・オリンピックの日本選手団の主将に吉田沙保里選手の起用を決定。女子選手が夏季オリンピックで日本選手団主将を務めるのは初めて。

【7月22日】全国少年少女選手権が行われる東京・代々木競技場第1体育館でリオデジャネイロ・オリンピック代表選手の壮行会を開催。オリンピック代表選手の壮行会が全国少年少女選手権の開会式の前行われるのは3大会連続。

【8月14～21日】リオデジャネイロ・オリンピックのレスリング競技が行われ、6階級に増えた女子は4階級で優勝して4大会連続で金メダルを獲得。伊調馨選手があらゆる競技で世界初となる女子個人での4連覇を達成。男子は2階級で銀メダルを取り、メダル獲得の伝統を続けた。



▲リオのレスリングハウスであいさつする福田会長

【8月31日】東京・明治記念館でリオデジャネイロ・オリンピックの日本代表選手団報告会が行われ、約500人の招待客に健闘を報告。

【9月13日】政府がオリンピック4連覇の伊調馨選手に国民栄誉賞の授与を決定（授与は10月20日）。レスリング界からは2012年の吉田沙保里選手に続いて2人目。

【10月8日】岩手国体第2日に、53kg級の1階級のみだが女子を初実施。須崎優衣選手が優勝する。